

全国病児保育協議会加盟施設 2024 年度実態調査

はじめに

まず、全体の設問に目をとおしてください。本調査は 2023 年度実績調査と同時に行っていて、主キーを施設番号にすることで連動して解析されます。したがってどちらの調査もご回答いただけるようにお願いします。この調査に 6 月のスタッフ数や利用人数の動態に関する設問があることをご留意ください。ご多忙のところ申し訳ありませんが、**令和 6 年 7 月 13 日まで**に回答をいただけるようにお願いします。

目的と意義

全国病児保育協議会調査研究委員会では、加盟施設の運営状況を調査するために実績調査と実態調査を行なっています。実績調査は毎年行っていて、主に利用人数や収支状況（交付金やスタッフの雇用状態）を中心とする調査です。一方、実態調査は施設のハード的な実態（設備、換気、空調、部屋数、トイレ、予約システムなど）とソフト的な実態（人員、配置、受入れ時間、広域利用など）を中心とする調査で、5～10 年に 1 回行なっていてこれまで、2002 年と 2008 年、2016 年に実施しました。本調査で解析されたデータは病児・病後児保育事業の発展を目的とした行政への資料や、病児・病後児保育に係る学会での発表や学術誌への掲載のみに使用します。

回答と送付方法

集計や分析・解析を正確かつ効率的に行うために、**回答はエクセルのテンプレートに直接入力**としています。そのテンプレートは**全国病児保育協議会ホームページからダウンロード**できます。実績調査は従来通り①web から直接入力、②エクセルをダウンロードして入力してメールで添付送信、③回答用紙に手書きで記載して fax 送付の 3 通りですが、**実態調査は②のみです。送付先のアドレスは mims2024@kthree.co.jp** で件名に「ご施設名、2024 年度実態調査」としてエクセルを貼付してお送りください。同時に送付する必要はありません。先に実績調査を web で済ませ、実態調査の中の 6 月の動態調査が終わってから送付をいただいても結構です。

情報の管理、回答の自由意志について

本調査の情報が漏洩されることがないように、データは集荷・入力する委託会社で厳重に保管し、調査終了後は破棄するように契約されています。分析や解析は全国病児保育協議会調査研究委員会で行い、報告書を作成した後にデータはすべて消去されます。発表や報告書などあらゆる場面で個人施設の情報を開示することはありません。本調査の協力の可否は施設の自由意志であり、それによって不利益が生じることはありません。また設問をすべて回答する必要はありません。回答を控えたい設問は、飛ばして次に進むことは自由です。

令和 6 年 7 月 2 日改訂

全国病児保育協議会調査研究委員会委員長 荒井宏治
お問合せ先（協議会事務局） info@byoujihoiku.net

同意の確認 本調査のご協力について同意いただけますか。

①はい ②いいえ

①を選択された場合は以下にお進みください。

I. 基本情報

1. 全国病児保育協議会施設番号を記入してください。会員番号は封筒宛名の右下の数字です。
()

2. 開設年月日を記入してください。

西暦 年 月 記載は 2016/02 のように記載してください。

日については自動的に 1 となります。2016/02/1

暦換算： 昭和 60 年 1985 年、平成 5 年 1993 年、平成 15 年 2003 年、
平成 25 年 2013 年 令和元年 2019 年

3. 立地自治体（区、市、町、村）の現在の人口を記入してください。
() 万人 (小数点 1 桁まで)

4. 立地自治体に設立している病児保育事業施設の数を入力してください。

1) 医療機関併設型病児保育室あるいは病児・病後児保育室 ()

2) 医療機関併設型病後児保育室 ()

3) 保育園型病児・病後児保育室 ()

4) 保育園型病後児保育室 ()

5) 単独型病児保育室あるいは病児・病後児保育室 ()

6) 単独型病後児保育室 ()

7) 体調不良型病児保育室 () 1) ~6) と重複していても差し支えない

8) その他 ()

9) 8) の施設の内容について記入 ()

10) 1) ~8) の施設の合計数 ()

7) については他の事業類型と重複している場合は加算しない

5. 対象児年齢を記入してください。

最低年月齢：生後 1) 歳 ~ 最高年齢： 2) 歳

1 歳未満児の場合、3 か月は 0.25 歳、6 か月は 0.5 歳、最低年齢の制限なしは 0、最高年齢の制限なしは 20 と記入してください。

③隔離室と一般保育室とは同じトイレであるが、通路が別である

④隔離室と一般保育室は同じトイレで、トイレへの通路も共通である

16. 利用料金の設定

1) 1日あたりの通常料金 () 円 無料の場合は0

2) 非課税者設定 (一人親、生活保護等)

①なし ②あり

3) 2) で②の場合 () 円 無料の場合は0

4) 非対象者設定 (施設市町村外利用者 保育園等外利用者 クラウドファンディング会員外利用者、併設施設関係者外利用者等)

①なし ②あり

5) 4) で②の場合 () 円

1日利用の場合を、そのまま金額を記入してください。 無料の場合は0

6) 半日設定 1)で通常料金の対象者について ①なし ②あり

7) 6) で②の場合 () 円

8) 時間設定利用 ①なし ②あり

9) 8) で②の場合 1)で通常利用対象者の場合、1時間あたり () 円

10) 時間外設定 ①なし ②あり (延長料金も含む)

11) 10) で②の場合 () 円

12) 休日、祝日の料金設定 ①休日、祝日は閉室 ②平日と同じ ③別額料金

13) ③の場合、平日との差額 () 円

14) 昼食代 ①なし ②あり (実費) ③あり (定額)

15) 14) で③の場合 () 円

16) おやつ代 ①なし ②あり (実費) ③あり (定額)

17) 16) で③の場合 () 円

18) 病児保育室登録料はありますか。 ①なし ②あり

19) 18) で②の場合 () 円

20) その他の料金があれば、記載ください。()

17. キャンセルについて

1) キャンセル可能期限

①特に設けていない

②前々日まで

③前日 (休室日前日の予約も含む) まで

④当日朝 () 時まで

2) 1) で④の場合、記入 (7時30分であれば、7:30と記入)

3) 無断キャンセルや期限を過ぎたキャンセルの場合は、キャンセル料はありますか。

①ない

②ある

③料金以外の方法でペナルティを課す

4) 3) で②の場合の料金 () 円

5) 3) で③の場合、具体的に記述

18. 1) 開所・開室日を1つ選んでください。

①平日のみ ②平日と土曜日 ③平日と土曜、日曜

④平日と土曜、日曜、祝日(盆正月を含む) ⑤年中無休 ⑥その他()

2) 1) で⑥の場合 記述

19. 開所・開室時間帯を記入してください。

・平日 1) ~ 2)

・土曜 3) ~ 4)

・日曜 5) ~ 6)

・祝日 7) ~ 8)

時間の記入は、午前8時0分なら8:00、午後5時30分なら17:30と記載してください。開所していない場合は、0 ~ 0と記入してください。

20. 1) 定員に満たない場合の予約について、予約可能なものを選択してください。

(複数選択可)

①前日予約(休室日前日の予約も含む)

②前々日予約日前から6日前まで

③当日予約

④一週間以上前まで受け付ける。

2) 1) で③の場合、当日の予約は()時まで(8時までであれば、8:00。制限がない場合は、閉室時間を記入。たとえば18時であれば、18:00)

3) キャンセル待ち順番予約はありますか。

①なし

②あり

4) 3) で②場合、利用可能な連絡方法は(複数選択可)

①電話連絡 ②ネット掲示 ③その他

5) 4) で③の場合、記述

21. 1) 予約方法について、複数回答可。
 ①電話予約 ②Web 予約 ③その他の方法
 2) 1) でその他の方法の記載 ()
 3) 1)で②の場合、ウェブの作成は
 ①外部委託 ②自作 ③自治体が独自に開発 ④その他
 4) 3) で①の場合、委託業者名
 ①グッドボタン (あずかるこちゃん) ②ドクターキューブ
 ③第四北越 IT ソリューション (病児保育予約システム)
 ④リザエン (病児・病後児保育の予約管理システム)
 ⑤SHIFT PLUS (コハナ) ⑥その他
 5) 3) で④の場合、記述 ()
 6) 4) で⑥の場合、記述 ()
22. 1) 昼食の提供について、ご選択ください。(複数選択可)
 ①自施設内で調理師による献立、配膳
 ②自施設内で保育士等のスタッフによる調理
 ③外部業者の搬入
 ④弁当の持参
 ⑤その他 ()
 2) 1) で⑤の場合、記述 ()
23. 1) アレルギー対応食の対応はありますか
 ①ないので保護者の弁当にしてもらう
 ②ある
 2) 1) で②の場合、除去することが可能な食材は (複数選択可)
 ①たまご ②牛乳 ③小麦 ④その他 ()
 3) 2) ④の場合、記述
24. 1) 感染症管理について (複数選択可)
 ①全国病児保育協議会感染症ガイドラインに準拠
 ②施設独自の管理方法
 ③その他のガイドライン ()
 ④特にガイドラインに基づかず、そのときの状況で対応している
 2) 1) で③の場合、具体名を記載してください。

25. 1) 事故報告書について（複数選択可）
- ①病児保育室向けインシデント管理システム（mims）
 - ②協議会ホームページからダウンロードする事故報告書（チェックシート）
 - ③施設作成の手書きの事故報告書
 - ④他の学会、団体、行政が作成した事故報告システムや事故報告用紙（ ）
 - ⑤特に事故報告書の作成や使用はしていない。
- 2) 1) で④の場合、具体名を記載してください。

26. 1) 病児・病後児保育室の事故に対して保険を加入していますか。
- ①入っていない
 - ②保険には入っている
- 2) 1) で②の場合、①病（後）児保育事業総合保険、 ②その他（ ）
- 3) 2) で②の場合、記述

II. 2024年6月の利用児や保育士の状況について

1. 令和6年6月1日から6月30日までの利用者について、病児・病後児保育室の入室時間帯別の延べ人数を記載ください。

- ・8時前まで ①人 ・9時から10時前まで ④人
- ・8時から8時30分前まで ②人 ・10時から12時前まで ⑤人
- ・8時30分から9時前まで ③人 ・午後から ⑥人

2. 令和6年6月1日から6月30日までの利用者について、病児・病後児保育室の退室時間帯別の延べ人数を記載ください。

- ・午前まで ①人 ・17時から17時30分前まで ④人
- ・12時から16時前まで ②人 ・17時30分から18時前まで ⑤人
- ・16時から17時前まで ③人 ・18時以後 ⑥人

3. 令和6年6月1日から6月30日までの利用者について、各曜日の利用者数、保育士の勤務延べ人数（非常勤も含む）を記載してください。

	月	火	水	木	金	土	日
利用者数	①人	④人	⑦人	⑩人	⑬人	⑯人	⑲人
開室日数	②日	⑤日	⑧日	⑪日	⑭日	⑰日	⑳日
保育士の のべ人数	③人	⑥人	⑨人	⑫人	⑮人	⑱人	㉑人

Ⅲ. 病児・病後児保育室のスタッフについて

1. 勤務している保育士の施設の勤務年数の平均（小数点1桁まで）
_____年
2. 勤務している保育士の保育士としての勤務年数の平均（前職が病児保育以外も含めて）
_____年
3. 担当する看護師の施設の勤務年数の平均（小数点1桁まで）
_____年
4. 担当する看護師の看護師としての勤務年数の平均（前職が病児保育以外も含めて）
_____年

Ⅳ. 医師の診察と診療情報提供書

1. 1) 病児・病後児保育室で受け入れする際に、かかりつけ医による事前診察について、実際の状況を選択してください。（複数選択可）
 - ①医療機関（かかりつけ医や休日診療所、併設医療機関）での利用前診察と、その診察医による病児・病後児保育診療情報提供書を必須としている
 - ②医療機関（かかりつけ医や休日診療所、併設医療機関）での利用前診察は必須とするが、その診察医による病児・病後児保育診療情報提供書は必須ではなく、保護者が医師から説明を受けた診断名や診療内容を記載した連絡票を提出してもらっている
 - ③医療機関（かかりつけ医や休日診療所、併設医療機関）での利用前診察は必須とするが、その診察医による病児・病後児保育診療情報提供書は必須ではなく、保護者が医師から説明を受けた診断名や診療内容を口頭説明（電話や受け入れ時の問診）によって事前診察や診療内容を確認している
 - ④医療機関（かかりつけ医や休日診療所、併設医療機関）での利用前診察を薦めるが、必須ではなく、病児・病後児保育診療情報提供書は必要ではなく、保護者からの電話や受け入れ時の口頭説明による情報提供のみで病状を把握している
 - ⑤前医での診察があっても、すべての預かり児について併設医療機関医師による事前診察をしてから入室している
 - ⑥前医での診察があっても、すべての預かり児について契約医（嘱託医）による事前診察をしてから入室
 - ⑦医療機関での利用前診察や病児・病後児保育診療情報提供書は必要とせず、保護者からの口頭での情報提供のみで受け入れている
 - ⑧その他（ _____ ）
- 2) 1) で⑧の場合、記述

VI. 連携・その他

1. 病児・病後児保育における地域の連携体制について

1) 地域の医療機関との連携体制について

- ①親密に連携している
- ②連携はしているが、親密とはいえない
- ③連携の必要性は双方理解していると思うが、連携できているとは言いがたい
- ④連携はできていないが、何とか理解してもらうように働きかけたい
- ⑤連携はできそうにないので、今後もこのままでやっていく

2) 地域の保育所、幼稚園、こども園、学校との連携体制について

- ①親密に連携している
- ②連携はしているが、親密とはいえない
- ③連携の必要性は双方理解していると思うが、連携できているとは言いがたい
- ④連携はできていないが、何とか理解してもらうように働きかけたい
- ⑤連携はできそうにないので、今後もこのままでやっていく

3) 近傍の他の病児・病後児保育施設との連携について

- ①親密に連携している
- ②連携はしているが、親密とはいえない
- ③連携の必要性は双方理解していると思うが、連携できているとは言いがたい
- ④連携はできていないが、何とか理解してもらうように働きかけたい
- ⑤連携はできそうにないので、今後もこのままでやっていく

2. 1) 立地自治体以外の利用希望者を受け入れていますか

- ①自治体委託施設であるが、受け入れている
- ②受け入れている
- ③自治体委託施設ではないので立地自治体在住については考慮しない

2) 1) で①の場合、受入れの優先の差、利用金額の差はありますか

- ①両方ともある
- ②立地自治体在住の児を優先する
- ③利用料金を高くする
- ④両方とも差別はしていない
- ⑤その他

3) 2) で⑤の場合は記載してください。

4) 1) で①の場合、受け入れ児の交付金給付はどうしていますか。

- ①立地自治体が負っている
- ②在住自治体と立地自治体の協定によって按分負担がされる
- ③受け入れ児分については交付金支給の対象外となる
- ④その他

5) 4) で④の場合は記載してください。

VII.2023 年度実績調査

1. 毎年実施しています実績調査です。実績調査専用の回答方法（用紙）がありますので、例年通り、ホームページから web で直接入力、エクセルダウンロードで手書きして fax、エクセルに入力してメール添付でお願いします。できるだけ web でお願いします。
2. 2023 年の実績調査から年齢分布の記載をお願いします。

（2023 年実績調査について追加で調査をお願いする項目です）

回答欄は実態調査回答用紙（これまでの実態調査 I～VI の設問と同じ回答用紙）の末尾にあります。「VII. 2023 年度実績調査 2. 年齢分布」に記入してください。

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 歳以上
人数	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪